



埼玉支部報 第 19 号

【目次】

国民の祝日「山の日」制定記念行事実施報告	1	安全登山委員会 【注意】ハチとクマ	12
「山の日」施行記念、武甲山登山報告	2	安全登山委員会「山の日」施行特別講演会	13
7 月月例山行皇海山報告	2	自然保護委員会 「大高取山自然観察会」	14
四季の山夏山戸隠山・飯縄山・高妻山報告	3	埼玉支部遭難事故対策本部員の委嘱	14
9 月月例山行横隅山報告	5	平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月の事業予定	15
10 月月例山行諏訪山報告	6	会員/会友在籍者数及び異動	16
沢登り「秩父・浦山川・細久保谷・左俣」	7	絵「玉山は雨の中」作：渡邊嘉也	16
創立 7 周年記念 台湾雪山・玉山登山隊報告	8	事務局からのお知らせ	16

国民の祝日「山の日」制定記念行事実施報告

埼玉支部支部長 松本敏夫

「山の日」施行記念武甲山登山、講演会&コンサート、夏休み親子キャンプを終えて (8/11)

国民の祝日「山の日」が施行された最初の記念すべき日である平成 28 年 8 月 11 日を、多くの埼玉県民とともに「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」とするため、埼玉県山岳連盟と共催で記念事業を開催することとし、約 10 ヶ月前から具体的な事業内容の検討を重ねてきた。その結果、埼玉県山岳連盟主催、秩父山岳連盟・日本山岳会埼玉支部共催とし、8 月 11 日（木）に武甲山記念登山、秩父地場産センターで講演会&コンサート及び武甲山トレランセミナーを、8 月 13（土）～14（日）に秩父夏休み親子キャンプを、埼玉県・秩父市・横瀬町の後援を得て開催した。

武甲山登山は、表参道生川登山口を 7 時にスタートし、山頂を往復するコースで、12 時過ぎには全員生川登山口に戻った。登山スタッフ及び一般登山者を含め 35 名弱の参加であった。一方、午後 13 時 30 分開始の講演会&コンサートは、岩崎元郎氏が「百名山を楽

しく登る」、吉田健一氏が「秩父の楽しみー山・地質・暮らしー」、奥宮俊祐氏が「トレイルランを楽しもう！」と題して講演され、ヴァイオリニストの佐原敦子さんが「夏の思い出」、「坊がつる讃歌」、「雪山賛歌」などを演奏され、約 110 名の参加者があった。コンサートが講演会の中に組み込まれ、特色のある記念事業になった。



埼玉県山岳連盟 石倉昭一会長挨拶

秩父夏休み親子キャンプは、秩父市の「岳人の家(旧大滝小学校三峰分校)」で開催され、一般参加者が 23 家族約 60 名、スタッフ等は 25 名の参加であった。初日はテント設営、夕

食作り(自炊)、星空観察、花火などがあり、二日目はラジオ体操(6:30)、朝食後、霧藻ヶ峰ピストンを実施した。初めての登山で遅れ気味の両親がいる中、小学生低学年の子供達が元気いっぱい歩き通していた。



霧藻ヶ峰にて

「山の日」施行記念、武甲山登山

中村直樹

8月11日(祝日)、武甲山登山口の「一の鳥居広場」は騒然としていた。山の日施行記念山行に参加する人達である。

6:30 集合、開会式、準備体操、記念写真を撮り 7:00 武甲山を守るオオカミに見送られ約30人が3班に分かれて出発。歩行ピッチは速く少し緊張したが、同じ山の仲間であり、自然とほぐれ、和やかに頂上をめざす。スタッフの心配りで予定通り登頂できホットした。

ご支援戴いた県岳連の方々との心暖まる交流で忙しいなかにも楽しく、記念すべき山行ができたことに感謝する。



一同を見送るオオカミ

7月月例山行「自然豊富な皇海山と月例山行で感じたこと。」(7/3)

村越百合子

7月3日(日)皇海山沼田ルート埼玉支部15名東海支部1名。1名は欠席し乗用車4台で行きました。不動沢ルート AM10 時出発(予定より30遅れました)登山口～二俣～不動沢のコル～山頂(往路)ゲートから歩いて行くとアサギマダラのお迎え、沢沿いを歩いたり渡ったりしている間にマイヅルソウ、ヤマネコメソウ、ギンリョウソウ、ミヤマカタバミ、シロヘビイチゴ、サワギク、ヤマホタルブクロ、シヤクジョウソウ、ビロードモウズイカ達を見る事が出来ました。

登りロープざればの場所がありとても滑りやすく、木や石、自然道具を使い下山時も大変でした。私にとって印象深いものはミソサザイ、ヒガラ、ルリビタキ、コゲラ、オオルリ、ショウビンの声が聞こえた事です。

蝶々達で印象的だったのは、クロアゲハシルビアシジミ、ヒメアカタテハ、ヒメヒカゲ、キバネセセリは群れている事はなく先日のようにまとまっているのは珍しい事です。



皇海山(2144m)山頂で

山頂は何も見られませんがとても楽しめました。1つの課題は以前丹沢縦走の時に沢渡りでトラウマを作ってしまった固まってしまうので場数かなと思いました。全体にまだまだ皆さんには及ばないかな?と思いました。又トイレのマナーや協力金を入れない人やペ

ットや煙草の吸い殻ポイ捨てやガムの紙を多数確認したので…お花摘みは至る所にありこれは水場だったら汚染されると思います。至仏山は2年前に美味しい水が飲めなくなりました。水脈源は皆のものです。一人一人がマナーを守ってくれたらいいのと思います。

北海道のように簡易トイレ持参の日は遠くないと思います。次世代の子供に残す前に駄目になってしまいます。それは絶対にあってはならないものだと思います。



右川氏の挑戦

四季の山・夏山 飯縄山・高妻山・戸隠山山行 (7/29~31)

橋本久子・富田容子

第1日目 7月29日(金) 飯縄山登山

車2台に分乗し埼玉を7時過ぎに出発した。男性4名(松本、吉田、石塚、高橋)女性3名(宮川、橋本、小島)の参加である。途中少し雨が降ったが飯縄山登山口に着く頃には青空になって暑い一日が始まった。登山口には10時半ぐらいに着き準備体操をして11時に一ノ鳥居を出発し順調に南登山道を進む。

飯縄山は848年に学問行者によって開かれた山岳信仰の修験の山である。そのために南登山道には現世、来世の道標として十三体の石仏が安置されている。第一不動明王から第二釈迦、第三文殊、第四普賢・・・と数えながら登るのは励みになった。ついでに記

しておく第五地藏、第六弥勒、第七薬師、第八観音、第九勢至、第十阿弥陀、第十一阿闍、第十二大日、第十三虚空蔵の順である。

この登山で私が最も感動したのは飯縄山が高山植物の宝庫だったことである。その数は227種にもものぼる。登山道で山肌を一面に染めていたのはピンクのシモツケソウで上に行くに従って濃い色の花が多かったように思う。下の方で多く見られたのは薄紫のギボウシだ。またヨツバヒヨドリソウ、ウツボグサ、カニコウモリ、タマガワホトトギスなどが続き足元にはギンリョウソウなども見られた。山の上の方ではエゾカワラナデシコのオペラピンク色が鮮やかだった。

またこの日は梅雨明けの初日ということでもものすごい暑さに見舞われ、最初からみな汗がポタポタ状態で2リットルくらいの水はすぐ飲みほしてしまい、富士見の水場を見つけた時はとても嬉しかった。水量が乏しくペットボトルにためるのに時間がかかった。天狗の硯石で昼食を摂りそこから1時間ほど登り、ここが頂上かと思った所からさらに10分ほど登り詰めるとやっと頂上だった。2時になっていた。頂上には大きな方位盤があり眺望も良く、周囲の山を確かめることができた。



飯縄山(1917m)山頂にて

15分ほど休み皆で元気に下山についた。5時位に駐車場に着きそれから戸隠キャンプ場に向かった。ビールをかうのを忘れずに。

キャンプ場では男性にテント設営をお願いし、女性陣が夕食の準備に取り掛かった。まだ平日だったせいかテントの数は少なかった。野菜たっぷりの食材で天婦羅や豚しゃぶ、サラダなどのご馳走が出来上がり暗くなり始めた戸隠連峰の懐で大宴会が始まった。山でのビールは格別である。皆よく食べよく飲み満足してテントにもぐり込んだ。こうして楽しいキャンプ第一日目が過ぎた。

第2日目 7月30日(土) 高妻山登山

7月30日未明に稲越さん、青木さん、それに富田の3名が車で到着。登山隊は総勢10名となった。高妻山は新潟県妙高市と長野県長野市に跨る、戸隠連峰の最高峰である。別名「戸隠富士」と呼ばれるだけあり、端正な三角錐の山容のはず・・・だが、生憎雲に隠れて全容は見えない。しかし、雨が落ちてない幸運に感謝し、6時10分キャンプ場を出発。

高妻山は「一不動」を初め「十阿弥陀」まで、各ピークに石祠があるのが有名である。今回は、従来の「一不動」から始まる登山道ではなく、新しい「弥勒尾根」を使用して登る。

調べたところ、平成24年6月から登山道として使用されているらしいが、長野市が正式に整備したのは、平成26年2月とのこと。従来の登山道とは「六弥勒」で合流するルートだ。



高妻山弥勒尾根登山口の渡渉

新道は、従来の登山道より距離が短い急坂が多く、少し滑りやすい道だった。しかし、新しいが故、土が柔らかく足を置くときに感じるクッションが心地よい。自然豊かな原木に囲まれ、夏の強い日差しを遮られてありがたい。カエデ等の木が多いので、秋には紅葉も楽しめそうだ。

六弥勒に到着すると、山頂が見えるはずだが、雲が隠して確認できない。見通しがつかず不安があるが、水分補給休憩を多めに取り、石祠を数えながら登り下りを繰り返し進む。結構な疲労と空腹で「九勢至」で長めの昼休憩、ここは風が通り景色が良い。そして、とうとう山頂が見えた。が、まだまだ一時間弱はかかりそうな状況に少し悲しくなる。九勢至から十阿弥陀の間は、岩のごつごつした急坂の連続であり、とても長い。しかも日差しがジリジリと暑い。重たい足で歩き続け12時15分に全員で登頂。山頂は広く、ここでもゆっくりと時間を過ごすことができた。雲が多いため眺望は残念だったが、道のりが長かった分、達成感はとても大きかった。

きた道に戻る途中は、晴れ間があり飯縄山を見ることができた。下りも、勿論遠く長い道のりで、「足が棒になる」と言うことわざがあるが、体感することができた。それでも16時30分キャンプ場へ全員無事に下山。キャンプ場で、高橋シェフ振る舞いの「全員で登頂お祝いパスタ」を食べた。美味しかった。長い1日だったが、仲間の雰囲気が高く、素敵な思い出になった。引率して頂きましたリーダーを始め、準備等に関わって頂きました、全ての皆様に心から感謝いたします。

第3日目 7月31日(日) 戸隠神社参拝

お忙しい稲越さん、富田さんは朝でお別れ。当初3日目は戸隠山登山の予定であったが、予想外に2日間天気に恵まれ2山登れたし、高妻山は10時間行動でもあり君子無理をせ

ず、の精神でこの日はゆっくりと戸隠神社参りということにした。若い元気なメンバーにはご不満だったかもしれない。

まずは奥社に参り、身も心も清め、その後、吉田さんの発案で鏡池ハイキングコースを歩いた。落ち着いた森の風情の中を歩き、鏡池に映る「逆さ戸隠山」を楽しめた。洒落たカフェでお茶したり、旨い戸隠蕎麦を味わったり、のんびりと高原の休日を堪能して帰路に就いた。

9 月月例山行横隈山 (594m) (9/4)

鈴木捷夫

「横隈山」は是非登りたい山であった。埼玉支部の案内を見て、些か足に不安があったが、早速参加することにした。

昔の話になるが、昭和51年始め八高線沿線の里山が気に入って案内本を片手によく歩いた。その中に男岳女岳があった。この山には昭和55年12月に出掛けた。山は綺麗な円錐形の双耳峰で、私には魅力のある山だった。その時の登山メモを要約してみます。「連日の忙しさに疲労が残り、出掛けを迷ったが挙行。起床した朝は冷え込んでいた。風は強いが好天、出発した。熊谷からの秩父鉄道、蛇行しながら山裾を進む。長閑な野上駅で降りたのは私一人であった。国道を渡って舗装道路を歩く。出牛に至る石の道標を見て林道から右折し、山道に入り一人で歩く。しかし疲れを癒す気持ち良い歩行となった。出牛に出て舗装道路を左に行く。身馴川を渡って暫く歩くと案内通り右手に辻堂があった。そこを林道に入る。少々で道は直登となった。一汗かいて双耳の鞍部へ、右に女岳の道、風強く汗を飛ばす。しかし登った女岳は眺めのない山頂であった。下って男岳へ、この山頂の展望は素晴らしかった。暫く山並みを楽しんだが、中でも武甲山ここでは横に長い頂き、眺望にひと時を過ごした。…下って見返す山の姿は

女性の胸のようで、美しく見えた。」以上である。

男岳女岳の案内に、続いて「横隈山」の案内があった。昭和57年12月やっと思掛けることになった。私のメモの一部を書いてみます。「…いろは橋を左に曲がると村道、暫く歩くと山道に入った。ここからの山頂への道がなかなか見つからない。現在と違って民家も疎らで、道を聞く人がいない。(案内本には、水でも貰いながら道を聞くと良いと書いてある。) 進んで途切れる山道を大分行き来して道を探したが、見つからず断念した。」そのようなことがあって、この山へ登れなかった心残り、気持ちが薄れず続いていた。



横隈山 (594m) 山頂にて

今回の登山、当日野上で降りて駅前や街の風景を改めたが確かな覚えはない。ただ沿線のどの駅でも感じられる山里の街の姿を楽しく感じた。ゆく道、途次のゴルフ場は記憶にないが、高原の家は営業していたと思う。雨上がりの気持ちの良い道が続く。舗装道路に飛び出す。出牛峠である。一休み後再び山道に入り下って出牛に出る。当時は気が付かなかったが、右手に西福寺という立派な寺がある。道の反対側には出牛文楽人形芝居発祥の地、会館や舞台がある。この里の歴史を感じながら、昔より広くなった感じの道を北に進む。フジバカマの花咲くいろは橋を渡って、左に曲がると平沢の集落、昔の面影はない。思ったより長い急な村道を詰める、家並みが続く。かなりの高度を稼いで山道の入口に付

いた。そこには山のからの水の樋があり、喉を潤して休憩、立派な道標に導かれて山道に入った。しっかりと踏まれた山道が続く。心配していた足も何とか落ち着き、雨も駅で止んで涼しく絶好の歩きとなった。気持ち良い林の中を上り、東西に長い山頂の西側に着いた。ここにはかつて写真で見た、折れていたが「御嶽大権現」と「武尊大権現」の碑が据えられ、北側には霞んではいたが鬼石の町が広がっていた。平らな雑木の頂上を東に行くと、少し開けた中に山頂があり、二等三角点が鎮座していた。雑木林の中の山頂、歩いてきた人には絶好の憩いの場所であった。ここで昼食を摂った。積年の思いを果たしたことに大きな満足を覚えた。下りは来た道を少し戻って西に延びる尾根道を歩いた。

起伏の少ない気持ち良い道で、途次“四等三角点”があった。新しい石で初めてこの四等の石柱を見た。気持ち良い歩行が続き、コンクリートで新しく舗装した林道に出た。杉の木立は間伐をしている。林業を再開したのか？ 村道に出るとすっかり雨が止み強い日差しの中に更木のバス停があり、静かな村も日差しの中にあった。帰り支度をしながらバスを待つ。バスは我々と途中で乗車した二人の婦人客で丁度満員になった。

余談だが、前記した男岳女岳、昭和51年に登った時には、男岳の東側で既に碎石の掘削採集が行われていたようだが、当日更木からの帰路、車窓から双耳の山姿は全く消えてしまった。仕方がないが淋しく感じた。



「いろは橋バス停からのスケッチ」作：鈴木捷夫（JAC埼玉会員）

10月月例山行 諏訪山（1549.4m）（10/1）

高橋 努

諏訪山は古くから登られた西上州を代表する名峰である。今回は浜平コースから登った。沢沿いのコースのため台風の影響で道が荒れているという情報もあり慎重に入山した。

登山口から湯の沢の頭までは湯の沢を詰め

ていくが、途中、土砂が崩れていたり、流木が堆積したりの状態であった。稜線に出るとしっかりした登山道ではしごやロープもあり、特段に危険なところはなかった。

天気は大きく崩れることはなかったが、終日、視界はなかった。避難小屋から岩場となり、時間もかかってしまい立派なお堂のある

三笠山山頂が14時近くなったため、ここでタイムアップとして帰路に就いた。

何とか足元の見える時間に駐車場に帰着することができた。なかなか手応えのある山行であった。



三笠山(1549.4m)山頂にて

**沢登り「秩父・浦山川細久保谷・左俣」
(10/16)**

村上光明

この山行は9月頃に計画されていたものですが、天候により10月16日に変更されて実施されました。

参加者は秩父・道の駅・「あらかわ」で集合し、川俣より細久保谷林道へ。車止め手前の駐車場で入渓準備。私にとって純粋な沢登りは何年もやっておらず、最近では命の次に大事なものを握りしめての遡行でした。久しぶりに使う簡易ハーネスの取付けに時間がかかってしまい、他の人を待たせることになりはしないかと焦ってしまいました。

準備ができたところで記念撮影。風邪気味の朝日さんとここで暫くのお別れ。

入渓点を探しながら林道を先に進み、営林署の建物がある先の橋のたもとより沢に降りる。最初が肝心なので思い切りジャブジャブと水の中に入り体に水の温度を馴染ませる。年と共に視力が落ちているうえに水の中も見えにくいので慎重になる。平川さんも沢の雰囲気の説明しておられましたが、上が開けて明るい沢で天気も良く、今日一日が楽しめそ

うな気がしました。時々ワァーとかキァーとか若い人のような声が聞こえてくる。小さな滝をいくつも超え体も慣れてきた。今日はお魚さんを求めて身を隠し、立木の枝を気にしての山行で無いのでややノンビリした間がある。遡行開始から約1時間、日が当たり暖かい場所で最初の休憩。やはり家にいて画面を見つめているより自然の中にいるのが楽しい。その後も順調に進みワサビ畑の作業小屋跡からグミの滝最終地点へ。落差25メートルなのにこの時期の水量としては立派。

小屋跡で沢装備を解きハイキング姿に。歩き始めは広い林道で藪化しておらず歩きやすかったが徐々に廃道の様子に変わってきた。特に橋があった所などは降りるのに気を遣うことになった。

なんだかんだがあり今朝の駐車場に戻ると朝日さんがUターンのために石などを取り除いてくださり周りが片付いていた。今回特に平川さんの行動中の助言にはプロとはこういうものかと感心させられることが多々ありました。

リーダーの高橋様はじめ参加者の皆さんありがとうございました。



7mの滝を直登する

創立7周年記念

台湾玉山・雪山登山隊報告

◆「台湾・雪山・玉山を登る」活動記録◆

1. 期 日：平成28年(2016)10月2日(日)
～8日(土)
2. 場 所：台湾
3. 参加者：12名
隊長：古川史典、マネージャー：高橋努、
松本敏夫、渡邊嘉也、大友寿郎、小林康
則、征矢三樹、竹内タミ子、橋本久子、
小島千代美、関喜美恵、城下訓子
4. 行動記録：
 - 1日目 10/2：成田空港—台湾桃園空港—台北
市内—故宮など観光—台北伊樂園大
飯店泊
 - 2日目 10/3：台北—七星山主峰(1120m)登
山—台北伊樂園大飯店泊
 - 3日目 10/4：台北—基隆山(588m)登山—
九份観光—礁溪温泉泊
 - 4日目 10/5：礁溪温泉—台北(林ガイド合流)
—(台中辺りで玉山入山禁止が判明)
—阿里山閣大飯店泊(玉山登山不可が
決定。麟趾山(2854m)と鹿林山(2845
m)を登山の代替案とする)
 - 5日目 10/6：阿里山森林公園散策—神木見学
—阿里山閣大飯店泊(麟趾山・鹿林山
など登山希望したが、林ガイド判断で
雨予報のため散策。結果雨は降らず)
 - 6日目 10/7：降雨となったが予定通り麟趾
山・鹿林山を希望し登山—昼食後台
北—台北伊樂園大飯店泊
 - 7日目 10/8：台北市内散策—台湾桃園空港—
成田空港帰国

◆参加者報告◆

【支部長 松本敏夫】

埼玉支部創立周年記念海外登山として、3周年はブータン・チョモラリトレッキング、5周年はヒマラヤ・チュルー最東峰登山とアン

ナプルナ内院・エベレスト街道トレッキングを実施してきました。支部創立7周年記念海外登山は平成28年10月2日～8日、「Aコース：雪山と玉山登山」、「Bコース：雪山と阿里山観光」を計画して当初スタートしました。



結団式(都内)

しかし、9月27日の台風17号が台湾を直撃し、雪山への山岳道路「武陵／雪山登山口間」が土石流で通行不能になり、雪山登山は実施前に中止となり、最終的に「A：七星山と玉山」に11名、「B：七星山と阿里山観光」に1名の計12名の参加者で実施されました。

雪山の代替となった七星山(標高1,120m)は台北最高峰の火山で、基隆山(標高587m)は海岸線を見下ろせる絶景ポイントです。どちらも石段や木の階段が山頂まで敷き詰められた整備の良い登山道と眺望の素晴らしい山で、地元の人たちにもハイキングコースとして親しまれています。

七星山山頂には日本統治下(陸地測量部?)、三角測量のため設置された一等三角点、東峰には三等三角点、西峰には二等三角点、南峰には一等三角点が残っています。登山道からの展望に恵まれた基隆山にも三等三角点が残っています。

高速道路で台北市から阿里山(10/5)に向かう途中、台湾の南海上で発達した台風19号の影響で玉山登山中止の連絡を受けました。玉山登山には台湾国立公園への入園・入山申請及び許可が事前に必要になります。この時期に連続して台湾付近に台風が接近するとは

思いもよらぬ事態ですが、自然を活動対象とする登山のため次善の策を検討するしかできません。阿里山へ登る車窓からの風景は、下部では亜熱帯らしい檳榔の林が、中腹はお茶畑が点在し、烏龍茶を製造する工場が立ち並んでいます。玉山登山の代替として、紅檜の巨木と立派な木道が整備された阿里山高原の散策、玉山登山口(上東埔)近くの鹿林山(標高2845m)及び麟趾山(標高2854m)を雨の中を縦走するという貴重な経験をえました。

創立7周年記念海外登山として計画された「台湾 雪山と玉山登山または雪山と阿里山観光」は台風の影響で雪山及び玉山登山が共に中止となる異常事態に遭遇しましたが、代替となった台湾の山々や阿里山高原散策、台北市内観光等の貴重な経験を共有することにより、参加した会員の見識や親睦を深めることができました。現地ガイドの高さん及び登山ガイドの林さんには、登山コース変更等に臨機応変に対応頂き、また、参加者の皆様には最後まで一致団結して行動していただき感謝申し上げます。

【隊長 古川史典】

埼玉支部7周年記念事業として海外登山台湾の高峰2座への登頂計画を実施しましたが、世界的な気候変動で台風17号が出発直前に台湾を直撃し雪山への道路が崩壊、又台風19号が台湾の南の沿岸を通過し防災通報が発令され玉山が登山禁止となり、目的の雪山・玉山は登山を断念せざるを得ない事態となりました。

それに代わる山として4座(七星山主峰(1120m)・基隆山(588m)・麟趾山(2854m)・鹿林山(2845m))雨と小雨の中登山を楽しむことができました。他に観光地を訪ねたり、美味しい台湾料理を食したりと大いに異文化体験を堪能することができ、全員活動中病気ケガ等無く元気に予定通り帰国する

ことができました。



七星山主峰登山口(台北近郊)

【マネージャー 高橋 努】

平成27年秋に古川さんから支部創立7周年記念山行で台湾はどうかと打診があった。その年の春にヒマラヤ登山の高度順化で玉山に登ったので今回は雪山中心の計画とし、折角だから玉山と雪山2座を目指す健脚コースも計画した。多分、健脚コースは少数だと思っていたら参加希望者のほとんどがこちらを申し込まれた。埼玉支部会員の意欲の高さに驚かされた。

今回は残念ながらその実力を発揮する機会がなかったが、恐らく天候に恵まれれば、このメンバーなら2座を難なく踏破されたことと思う。帰国して成田で別れる時の皆さんの顔は少しも落ち込んだ様子はなく、もう次の山行に思いをはせている。前向きだ。これなら次回が楽しみだと思った。

【小林康則】

日本の統治下にあったとき新高山と呼ばれた台湾のほぼ中央部に南北に走る中央山脈の最高峰、玉山(3952m)記念山行は台風で泣かされ断念を余儀なくされる。

高所訓練と体力強化を図る北岳訓練山行も天候不順で流れ、台風9号は関東を縦断し記録的時間雨量を降らせ生活道路が濁流と化し、

100年に1度の大災害をもたらした。

次々と発生する台風。6日夜強い雨脚が阿里山閣大飯店の窓を叩き、雷鳴とどろく。

明けて7日、海上警報発令で国立公園入域規制がかかり玉山登山が叶わなくなる。

テレビは台風情報を一晩中流し、台湾南部積算雨量多く局所的大雨警報、暴風圏拡大、台風接近と刻々情報を流し午前2時40分台風19号の昇格を伝える。

午後4時30分台風警報が解除されたが、時すでに遅し。停滞する温帯低気圧は湿った雨を降らせ数日不順な天気が続く。

山旅報告は同行者に譲るとして、矢継ぎ早とテーブルに並ぶ台湾料理の数々と、ご馳走に欠かせない豆板醤や醤油漬け唐辛子、ご馳走様でした。



士林夜市にて (台北)

【小島千代美】

創立7周年記念海外登山に初めて参加させて頂きました。出発2日前に登山の変更があったものの、気持ちはワクワク。初日から3日間は晴れ、その後天候により玉山も閉鎖され、あまりにもいろいろな事がありビックリしました。観光では行けない台湾の山や街を楽しむ事ができました。企画、準備をしていただいた、古川様、高橋様、松本様、大変ご苦労様でした。自然には勝てないですね、有難うございました。

【関 喜美恵】

台湾、時差1時間という近くにありながら、今まで行く機会に恵まれませんでした。

と言うことで初の台湾、目的は雪山と玉山への登頂でしたが今回は台風の影響でこの目的は達成できませんでした。しかし普通の観光では味わえない多くの経験と台湾と日本の関係を知る機会となりました。チャンスがあれば再度行きたいと思います。



『千と千尋の神隠し』の街並み (九份)

【城下訓子】

年老いた両親をしぶしぶ納得させ行った初めての海外登山。なのに残念なことばかりでした。その中でも印象に残ったこと、感動したことがあったので、それを書きます。

- ① 忠烈祠衛兵交代、暑いのに微動だにしない姿に感心。
- ② 2日目夕飯の帰り道で食べたアップルマンゴーかき氷が何とも言えない美味しさ。
- ③ 地下鉄に乗って移動。台湾の人は必要な人には素早く席を譲る自然さに感動。

- ④ 地下鉄のホームや車内が飲食禁止と厳しいですが、そのためとても綺麗。日本もそうありたいなと思ったりして。
- ⑤ 淡水での市民が多く行く市場で食べた海鮮ラーメンがあっさりしていてとても美味しかった。
- ⑥ 現地日本語ガイド 高さん、色々アクシデントがあったにも関わらず一所懸命に対処してくれご苦労様でした。
- ⑦ 会友になってまだ日が浅く泊りは初めてで、皆さんには色々とお助けいただき感謝！感謝！

今回の旅で得た仲間、これが一番でした。皆さんには大変お世話になりありがとうございました。

次に海外に行ける様になるのは、いつになることか???

以上が私のほんの一部の感想です。



忠烈祠 (台北)

【 征矢三樹 】

玉山登山前日、礁溪温泉のホテルで天気図を見ると出国以来気になっていた台風18号は韓国済州島付近まで北上し台湾への影響は回避されたと一安心。しかしよく天気図を見ると台湾とフィリピンの間に小さな低気圧マークがあった。これが当日下午にアイリ（女性名）という可愛い名前の台風に昇格してし、そのとたんに天気は良いのに国立公園の登山道は閉鎖で玉山登山はできなくなってしまっ

た。台湾の登山システムでどうしようもないが残念至極であった。団長の判断で雨の中玉山登山口まで行けたのはなぐさめであった。埼玉支部の方々と楽しく旅ができたことはよかった。できれば台湾の登山者と少しでも交流できればよかった。

【 渡邊嘉也 】

小雨模様の陽明・基隆山と雨中の鹿林・麒跡登山から歴史を顧みた。

九州と同じ程の広さに3,000mを越える峰が160座もあり、玉山の登山基地ともなる阿里山(2170m)には日本統治時代からの森林鉄道や博物館、神社や寺の建築に使われた木への「樹霊塔」、博物館の俯瞰図には大戦開始の暗号「新高山」の文字がある。

私は素晴らしい文字ハングルを2年程学んだ。3日で読み書きが出来た。この国が何故憎しみのみを残すのか、台湾との違いを考えた。



七星山主峰(1120m)頂上にて(台北近郊)

【 大友寿郎 】

「富士山の高度を越える雄大な台湾のピークを踏んでみませんか。」

今年の2月、台湾に行ったことがない私はこのキャッチフレーズに魅かれ参加を決めた。だが台風の影響で雪山も玉山も登れなかったがすべては台湾の事情で出発を4日前倒しにしたため、それが台風の最盛期(?)にぶ

つかってしまったようだ。

まず出発直前、台風17号の影響で雪山へ入れないのは分かっていたが“台湾最高峰玉山に登るのだ”、と参加者全員元気で日本を出発した。日本語ガイド高さんの案内で当初の計画になかった台北市最高峰七星山と九份の基隆山を登り台北市の観光巡りもした。行きたかった故宮博物院や礁溪温泉の温泉魚も経験した。



基隆山 (588m) 頂上にて (九份)

4日目登山ガイドの林さん(台湾山岳会)が同行して玉山登山の入り口阿里山を目指して高速1号線を南下した。途中バスのクーラー修理のため「湖水SA」で2時間程休憩したがその午前11時に台湾気象台が台風19号接近の海上警戒警報を発令した。これで万事休す。翌日の玉山登山許可は自動的に無効となり我々は最大の目標を失った。その時ベンチ傍でサクソ奏者の芸人が日本の古い演歌を演奏していた。朗々と響く哀愁を帯びた彼の演奏は素晴らしく少し慰められ30元置いた。我々は目的がないまま阿里山に向かい翌日から森林遊楽区を歩いたり雨中上東埔にある鹿林山麟趾山を登ったりした。塔塔加鞍部では玉山への登山道が玉山前山を巻いて続いているのが見えて玉山登頂への意欲を繋いだ。

今回計画とはまったく違った山行になったが冒険とはそんなもので計画通りに行かない方が面白い。古川リーダーはじめ参加者全員

がそんな気持でこの山行を楽しんでいるのは心強かった。台湾は食事も酒も美味しかったが町でも山でも安心して歩けたのは仲間のおかげで本当に素晴らしい仲間だった。感謝、感謝です。



麟趾山 (2854m) 頂上にて (玉山国立公園)



安全登山委員会

①登山道でハチとクマに遭遇したら!

今年の8月6日、一年前にハチに刺された男性が、秩父豆焼沢の岩斜面でクロスズメバチ(ジバチ)に  37か所を刺され10分後に死亡され、 又その時そばにいた黒手袋の女性も手袋の上から2か所刺された。

8月7日、秩父市荒川日野地区の民家から5分登った岩場で、登山者が登山道わきの洞穴を覗いたところ、中からクマが飛び出しクマと登山者が絡み合いながら5m滑落した。クマは斜面を登り去ったが、登山者は衣服以外の肌の露出した箇所すべてに深い傷を負った。特に大持山の稜線秩父側は岩穴が多数あり、クマがいる場所である。

【対策】

- ・ハチ・・・ハチスプレーを携行する。黒色 いたりしない。
衣服を身に着けない。 (埼玉県警察山岳救助隊副隊長 飯田雅彦氏の話)
- ・クマ・・・登山道脇の穴には近づいたり視

②「山の日」施行記念事業特別講演会のご案内

主催 公益社団法人日本山岳会埼玉支部
安全登山委員会

後援 埼玉県山岳連盟

「山の日」施行記念事業

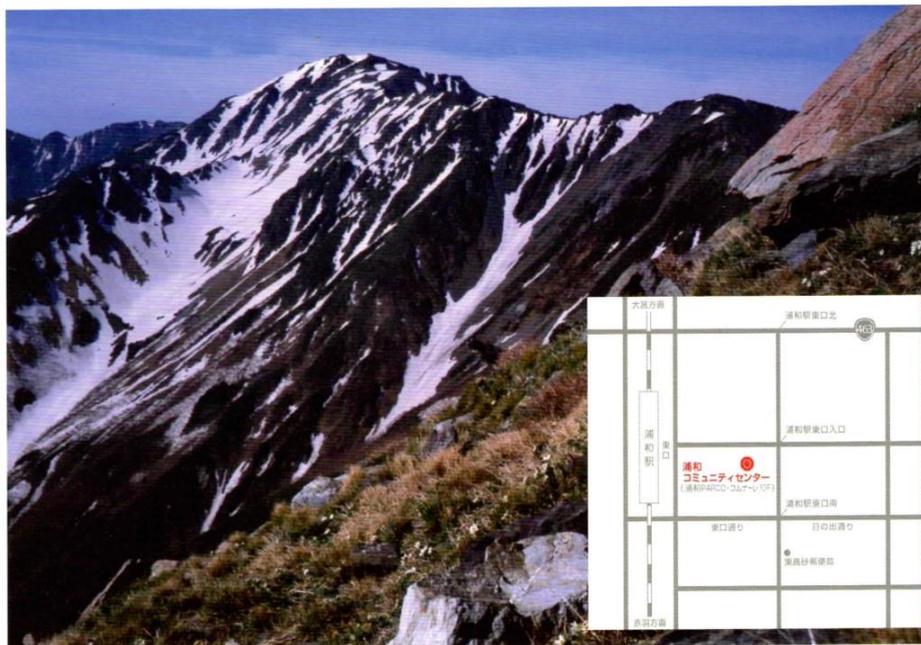
特別講演会「北岳周辺での登山・山小屋事情と変遷」

☆白根御池小屋の歴史や、小屋周辺の花々・南アルプス北部の山々の紹介と
近くで発生した山の事故の傾向と対策☆

講師 白根御池小屋管理人・埼玉支部安全登山委員会所属

高妻 潤一郎委員

日時：平成28年12月7日(水)19時～21時(受付：18時半) 募集：100名 参加費：500円
場所：浦和コミュニティーセンター10階第13集会室(JR浦和駅東口徒歩1分 浦和パルコ内)



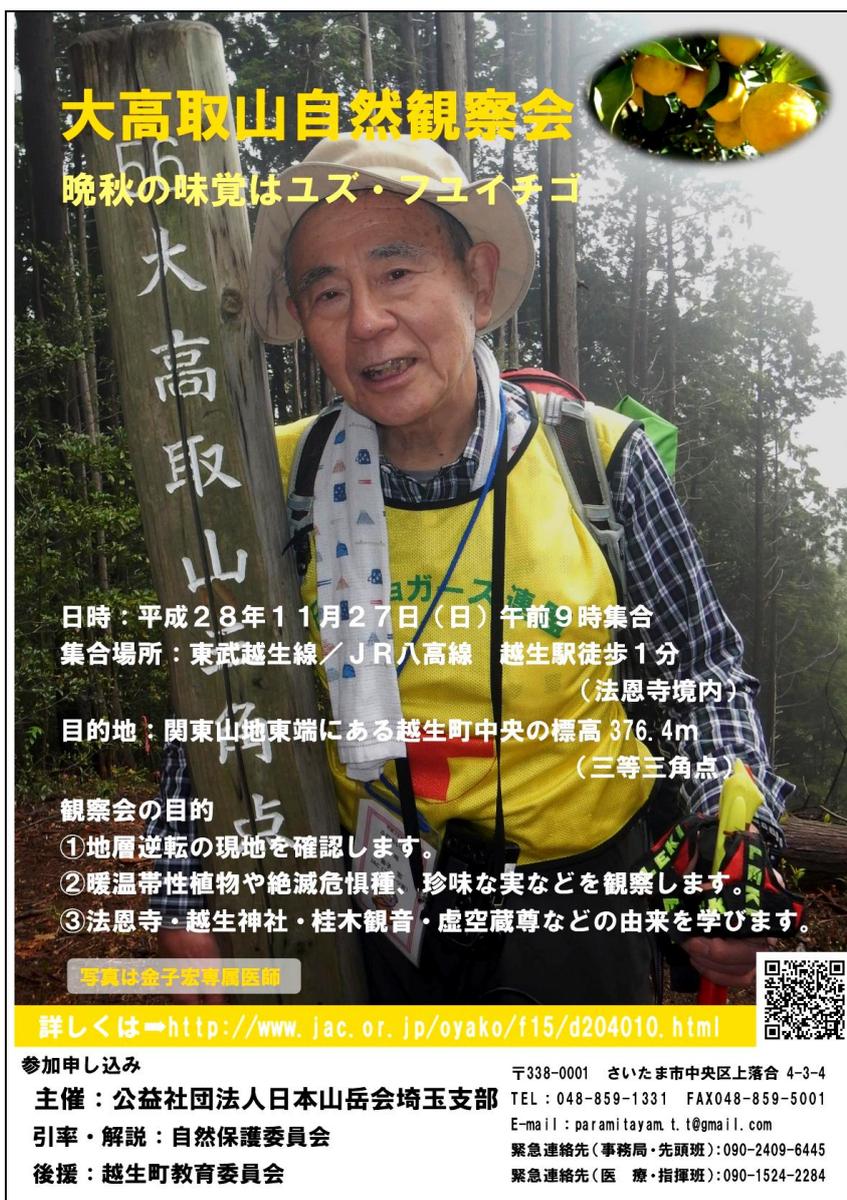
申込先：安全登山委員会 宮川美知子(13795)

① E-mail: miyachan-5go@tbb.t-com.ne.jp

② 携帯 090-2648-1947 ①または②の方法で申し込みください。

自然保護委員会

大高取山「自然観察会」のご案内



大高取山自然観察会
 晩秋の味覚はユズ・フユイチゴ

日時：平成28年11月27日(日) 午前9時集合
 集合場所：東武越生線/JR八高線 越生駅徒歩1分
 (法恩寺境内)
 目的地：関東山地東端にある越生町中央の標高376.4m
 (三等三角点)

観察会の目的
 ①地層逆転の現地を確認します。
 ②暖温帯性植物や絶滅危惧種、珍味な実などを観察します。
 ③法恩寺・越生神社・桂木観音・虚空蔵尊などの由来を学びます。

写真は金子安寿男医師

詳しくは→<http://www.jac.or.jp/oyako/f15/d204010.html>

参加申し込み
 〒338-0001 さいたま市中央区上落合 4-3-4
主催：公益社団法人日本山岳会埼玉支部 TEL：048-859-1331 FAX048-859-5001
引率・解説：自然保護委員会 E-mail：paramitayam.t.t@gmail.com
後援：越生町教育委員会 緊急連絡先(事務局・先頭班)：090-2409-6445
 緊急連絡先(医療・指揮班)：090-1524-2284

埼玉支部遭難事故対策本部員の委嘱

平成28年9月15日開催第6回支部委員会において、公益社団法人日本山岳会埼玉支部遭難事故対策規程第2章第4条に従い以下の者の委嘱が承認されました。任期は今年度とする。

支部委員会 (10名)	松本敏夫 高橋努 古川史典 石塚昌孝 高嶋徳絃 大久保春美 龍久仁人 多田稔 中村直樹 朝日守
山行委員会 (5名)	山崎保夫 富樫信樹 菊池武昭 平川陽一郎 宮川美知子
安全登山委員会 (4名)	恵秀彦 渡邊浩 梶野登 遠藤俊博

平成28年9月15日

公益社団法人日本山岳会埼玉支部長 松本敏夫

平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月の事業予定

(平成 28 年 11 月 1 日現在)

月	日・曜日	予 定	難度	担当委 員会	担当
11	27 日(日)	自然保護委員会「越生町大高取山自然観察会」 後援：越生町教育委員会 AM9 時越生・法恩寺集合	☆	自然	高島
12	7 日(水)	「山の日」施行記念事業安全登山講演会 「北岳周辺での登山・山小屋事情と変遷」 (講師：高妻潤一郎氏) 浦和パルココミュニティーセンター10階 19 時～		安全	宮川
	10～11 日 (土・日)	忘年山行 秩父両詰山・猪狩山 国民宿舎「両 神荘」(HP にご案内済み)	☆	山行	高橋
1	14 日(日)	月例山行 新年山行 秩父・日向山と懇親会 (HP にご案内済み)	☆	山行	宮川
	19 日(木)	シンポジウム「埼玉の自然」 浦和パルココミュニティーセンター10階 18 時 30 分～		自然	龍
	21 日(土)	「山の日」施行記念事業安全登山講演会 「どの山でも登山届を出そう！いざという時 にあなたを救う」 (講師：埼玉県警遭難救助隊副隊長飯田雅彦氏) 大宮・川鍋ビル 13 時 30 分～		安全	宮川
	22 日(日)	第 3 回森づくり&自然観察会(狭山・八幡神社 付近)		自然	朝日 吉田
2	11～12 日 (土・日)	四季の山・冬の山(候補：霧ヶ峰と蓼科山)) (近日中にご案内予定)	☆☆☆	山行	高橋
3	5 日(日)	月例山行 里山ハイキング(候補：弓立山) (近日中にご案内予定)	☆	山行	山崎

平成 29 年度

4	15 日(土)	平成 29 年度支部総会(浦和・「さいたま会館」)		総務	古川
---	---------	---------------------------	--	----	----

- 補) 支部委員会 →毎月第 2 週木曜日 18 時 30 分～浦和野村ビル 3 階
 山行委員会 →毎月第 2 週水曜日 19 時 00 分～浦和パルコ 9 階
 自然保護委員会→毎月第 2 週水曜日 18 時 30 分～浦和パルコ 9 階(原則)
 安全登山委員会→不定期 浦和野村ビル 3 階
 社会貢献委員会→不定期
 広報委員会 →不定期
 総務委員会 →不定期

凡例：◎山行→山行委員会 ◎自然→自然保護委員会 ◎安全→安全登山委員会 ◎社会→社会貢献委員会
 ※各行事の詳細は、HP を閲覧するか直接担当者にご連絡ください。

埼玉支部会員/会友在籍者数及び異動

平成28年10月30日現在

会員	134名	会友	12名	計	146名
【入 会】					
会 員			会 友		
【退 会】					
会 員				会 友	
6170	錦織英夫	8月			
15567	田中摩利子	9月			
8712	中田 勇	10月			

事務局からのお知らせ

訃 報

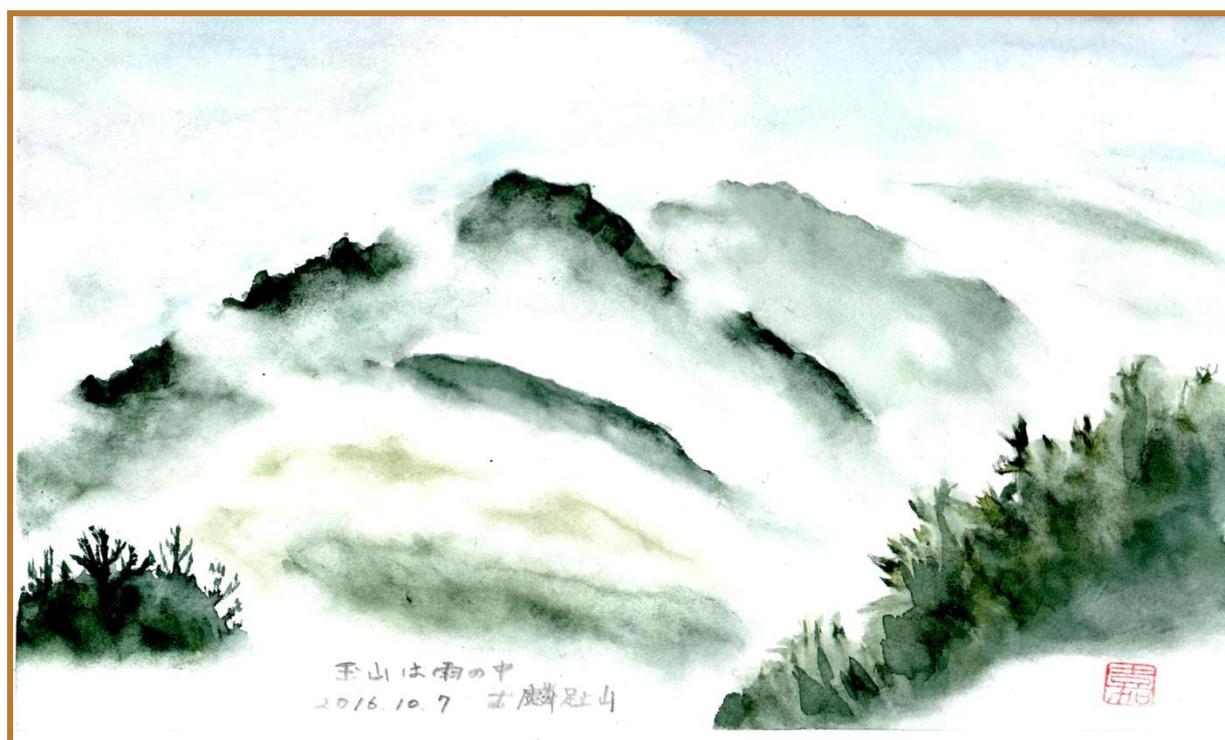
平成28年10月20日会員番号6349
田部井淳子氏(77歳)が、腹膜がんで
逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

住所、電話、メールアドレス等の変更が
ありましたら事務局にご連絡をお忘れなく！

<連絡先>

埼玉支部事務長 古川史典

f8008pk@rock.odn.ne.jp



「玉山は雨の中」 (於：台湾麒趾山) 作：渡邊嘉也 (JAC 埼玉会員)

公益社団法人日本山岳会 埼玉支部報 第19号

平成28年(2016年)11月1日発行

発行者：公益社団法人日本山岳会 埼玉支部

支部長 松本敏夫

事務局：350-0312 埼玉県比企郡鳩山町鳩ヶ丘 1-25-10 古川方

電 話：090-3219-0860 Email: f8008pk@rock.odn.ne.jp

埼玉支部ホームページ：<http://www.jac.or.jp/saitamasibu/index.html>